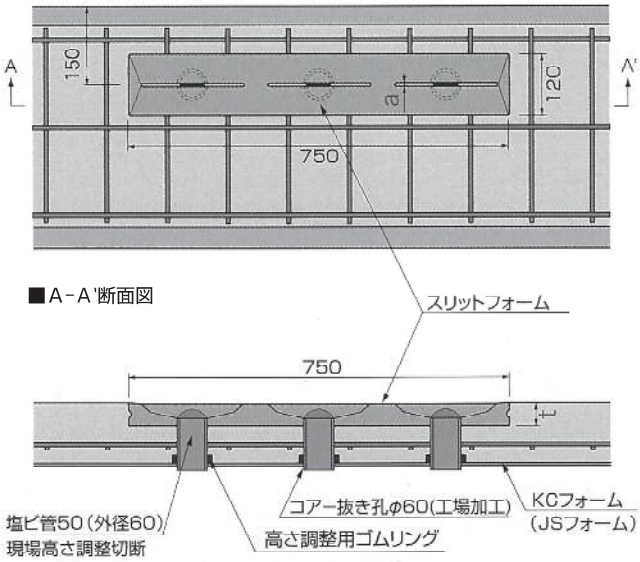
埋設集水型枠 スリットフォーム ＫＣフォーム・ＪＳフォームの排水対策に最適です。NETIS登録番号(KT-050028-A)

スリットフォームの特徴

- ●雨水の集まりやすい表面Ｖ型へこみ形状と、細長スリット中央部の落口半球体空間が、より排水機能を高めています。
- ●スリット幅がせまく、歩行に支障がありません。
- ●スリット部は棒状のものでメンテナンスがし易い形状になっています。
- ●現場打ちコンクリートと同じコンクリート素材なので、一体化でき、更に表面質感も周辺に馴染みます。
- ●同類用途の鋼製品と比較しても、経済的で、長期耐久性もあります。
- ●設計主鉄筋ピッチ（125㎜）を変化させないで、そのまま取付けが可能です。

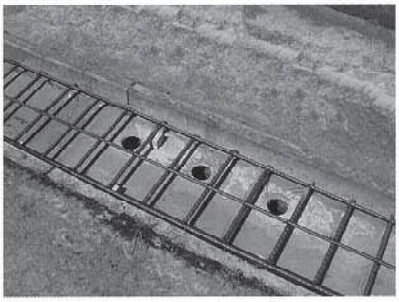
■標準施工図



スリット	スリット幅(a)	製品厚(t)	製品質量
細目タイプ	8㎜	43㎜	7kg
並目タイプ	15㎜	48㎜	8kg
太目タイプ	20㎜	48㎜	8kg

※横断部及び車両乗入れ部では
Ｔ－６以下の条件で使用してください。

スリットフォーム施工手順（ＫＣフォームでの施工例）



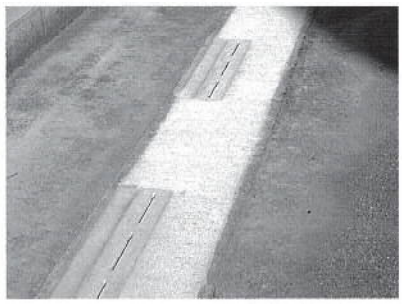
❶配筋
工場であらかじめ、スリットフォーム用の孔をあけたＫＣフォームを設置した後、通常のＫＣフォームの施工と同じ要領で配筋します。

❷塩ビ管取付
塩ビ管を現場の高さに合わせて切断し、ゴムリングを取り付けたものをスリットフォームにセットします。

❸スリットフォーム取付
集水するスリット部にコンクリートが入らないようにマスキングテープを貼り、ＫＣフォーム孔に塩ビ管を差し込むように取り付けます。

❹コンクリート打設
スリットフォームの下にも、コンクリートが充填されるようにコンクリートを打設します。

❺刷毛引き
刷毛引きをして仕上げ、養生します。



❻完成